

【2019 年度 研究費獲得】

文部科学省科学研究費 代表

1. 科学研究費補助金 基盤研究(A) (令和元年度)「愛着障害の新たな客観的診断・支援法の開発—少子化社会を克服するための戦略—」、友田明美 (代表)
2. 科学研究費補助金 挑戦的研究 (萌芽) (令和元年度)「ペアレントトレーニング効果判定のための MRI 脳計測による客観的手法の開発」、友田明美 (代表)
3. 日本学術振興会：日米科学技術協力事業「脳研究」分野グループ共同研究 (2019 年度)「児童青年期のヒト脳発達に及ぼす影響に関する研究」、友田明美 (日本側代表)
4. 科学研究費補助金 基盤研究(C) (令和元年度)「アロペアレンティング状況が子の社会性発達および養育者のメンタルヘルスに及ぼす影響」、藤澤隆史 (代表)
5. 科学研究費補助金 若手(B) (令和元年度)「愛着関連障害と発達障害の判別システム：中間表現型を用いた研究」、滝口慎一郎 (代表)
6. 科学研究費補助金 若手(B) (令和元年度)「教育行動の機能的役割とその神経基盤の解明」、島田浩二 (代表)
7. 科学研究費補助金 若手(B) (令和元年度)「安静時機能的 MRI を用いた ADHD における神経ネットワークと遺伝子の関連解析」、水野賀史 (代表)
8. 科学研究費補助金若手(B) (令和元年度)「養育者支援による ADHD 児と養育者間の問題改善に関わる神経科学的基盤の解明」、牧田 快 (代表)

文部科学省科学研究費 分担

9. 科学研究費補助金 基盤研究(B) (令和元年度)「わが国における神経法学の基盤的研究—法学・医学・心理学の協働—」
(代表者名 山口直也)、友田明美 (分担)
10. 科学研究費補助金 基盤研究(C) (令和元年度)「社会的相互作用や生活環境が、子どもの認知機能や社会能力に与える影響」(代表者名 齋藤大輔)、藤澤隆史 (分担)

受託研究

11. 科学技術振興機構 社会技術研究開発 (RISTEX) 戦略的創造研究推進事業「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築 研究開発領域」
「養育者支援によって子どもの虐待を低減するシステムの構築」(令和元年度) 友田明美 (代表)

その他

12. 令和元年度 福井大学卓越研究者に対する支援助成、「マルトリートメント（避けるべき子育て）予防モデル構築のための研究開発」、友田明美（代表）、2,000 千円
13. 令和元年度 福井大学学術研究育成支援「研究育成経費」、「潜在連合テストを用いた子どもへのポジティブな態度形成と養育ストレス軽減法の開発」、藤澤隆史（代表）
14. 令和元年度 福井大学次世代卓越研究者に対する支援助成、「子どもマルトリートメント児エピジェネティック療法の創薬開発に資するエピゲノム・マーカートの同定」、西谷正太（代表）
15. 令和元年度 福井大学医学部「ライフサイクル医学」推進学部長裁量経費、「マルトリートメント児エピジェネティック療法の創薬開発に資するエピゲノム・マーカートの同定」、西谷正太（代表）
16. 令和元年度 前川財団家庭・地域社会教育助成『母親の子どもに「教える行動」の機能的役割に関する検討ー親性獲得プロセス解明を目指してー』、笠羽涼子（代表）
17. 令和元年度 福井大学地域貢献事業支援金「親子の相互作用を促すことで養育者の発展を期待した地域親子支援グループ（集まれAキッズ）の開催」、榊原信子（代表）